

児童生徒のSOSの出し方に関する教育 【実施報告】

【1校目】

実施校	浅間中学校
対象学年	2年生 5クラス：175名
実施日	平成30年 9月 16日（水） 2・3・4時間目

【2校目】

実施校	第三中学校
対象学年	全学年 11クラス：計607名 1年生 5クラス：184名 2年生 5クラス：194名 3年生 6クラス：229名
実施日	平成30年11月17日（土） 1・2・3時間目 《公開授業》

【授業内容】

担当者	講座：健康推進課 絵本の読み聞かせ：りぷりんとかわさき	
授業構成	講座 25分	・可動式テレビにスライドを投影し実施。 ・スライド中の写真は各学年の担任教諭のものを使用。 ・中学生の頃の悩みを担任教諭に話してもらう。
	絵本 15分	・選書 「たいせつなきみ」
	感想 10分	
実施校との振り返り	◆講座について ・生徒に参加させる（話す、手を上げる、ストレス解消法の実践等）ような工夫があっても良かった。 ・「あきらめないで、3人に相談しよう」というメッセージは大切。実際にそうしてほしい生徒はいる。 ◆絵本の読み聞かせについて ・良かったが、絵本が見えない生徒もいたかもしれない。 ◆全体通して ・授業の中に「自殺」という言葉がなかった。これからも使わないほうがよい。 ・例えば、男性教諭がやるよりも、保健師や保健センターの職員ということで、やわらかい印象になった。 ・生徒達も分かっているようで分かっていないようなことなので、改めて知る機会があることは良かった。 ・公開授業で実施したが、大人も聞いて良い授業だと感じた。	

【生徒からの感想】

- ・ 今日の話と絵本で自分の大切さがわかった。
- ・ 一人で悩まなくてもいいということを知った。
- ・ 悩んでいるのは自分だけじゃないとわかり、心強く思えた。
- ・ 私が困ったとき、周りには相談できる大人がたくさんいることがわかった。
- ・ 自分はずらなくなったときは、だいたい自分で我慢してしまうので、これからは自分も相手も、周りの人も大切にしていきたい。
- ・ 自分の話を真剣に受け取ってくれる人は必ずどこかにいると知ったので、そのことを忘れずに生活していきたい。
- ・ 絵本を聞いて、周りの人の目を気にすることが大切というわけではなく、自分がどうしていくかが大切だということを知った。
- ・ 自分を大切にすることとは難しいことではなく、少し考え方を改めて「SOSしよう」と思うことで、自分も人も簡単に救えると知った。
- ・ 簡単なようで簡単には出せない勇気を、悩んだときには頑張っ出ていこうと思った。

- ・ 信頼できる大人なんていない。
- ・ 学校ではずっと笑っているけど、家に帰ると無言だったり泣いていたり、自分の悩みを隠すことがとても多い。
- ・ 誰かを信用できるならそうしたい、ができない。
- ・ 今、イヤなことがたくさんある。相談できる人はいないけど、探そうと思う。
- ・ 自分を大切にしてくれる人はいない。私は絵本にでてきたような言葉がほしかったんだと思った。

